

「小一の壁」の実態と不安

～ 「小一の壁についての緊急アンケート
2018」 回答結果より～

Sour ire

スリール株式会社

「子育てしながらキャリアアップ」を支援するには、
様々なステージがあることの理解が必要。

若手社員



未就学
育児社員



就学児
育児社員



妊娠
・
出産

保育
休
活

復
帰

小学校
入
学

中学校
受
験

ステージによって悩みやサポートの仕方が変わることを
理解する必要がある

「小1の壁」：保育園時代よりも両立がしづらくなること

- ・「学童」の運営時間は「保育園より短い」。夏休みはお弁当。
→一方、仕事では時間短縮勤務が切れる。一般的に子育ては楽だという認識
- ・親の参加・フォローが必要な物事が増える。
→連絡方法が従来のもので「専業主婦」前提の体制に疲弊してしまう。
- ・子どもの状況が見えにくくなる。
→お迎えが無くなり、友人関係・学校の雰囲気も見えず、親の不安は増長。



仕事

- ・職場での理解
- ・キャリアアップへの期待
- ・職場の働き方の変化（時短が切れる）

こども

- ・PTAなど学校の活動
- ・夏休み/春休みの対応
- ・持ち物/宿題サポート
- ・学校からの連絡方法の不便さ
- ・こどもの友人関係/安全/勉強などの状況の見えなさ

周囲・サポート環境

- ・保育園→学童（時間変更）
- ・パートナー周囲の不理解
- ・専業主婦/主夫との違い（ITスキル/子育て時間など）
- ・子どもの意思を尊重したサポート/日々の対応

6:00 起床

7:30 登校 [保育園 : 8:30]



14:50
終業



朝
本の読
み聞か
せ



15:00
帰宅

学童



お稽古



18:00
学童
帰宅



夕方
保護者会

[保育園 : 20:00な
ど]



宿題・丸つけ・
明日の準備



夕方
PTA

**【67.1%】が
大変と回答**

**年長クラス
【66%】が不安と回答**

子供が小学校に入った時、
環境の変化に大変だと感じた<共働きママ>

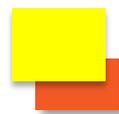


「小1の壁」に不安を感じている (感じていた)
<共働きママ>



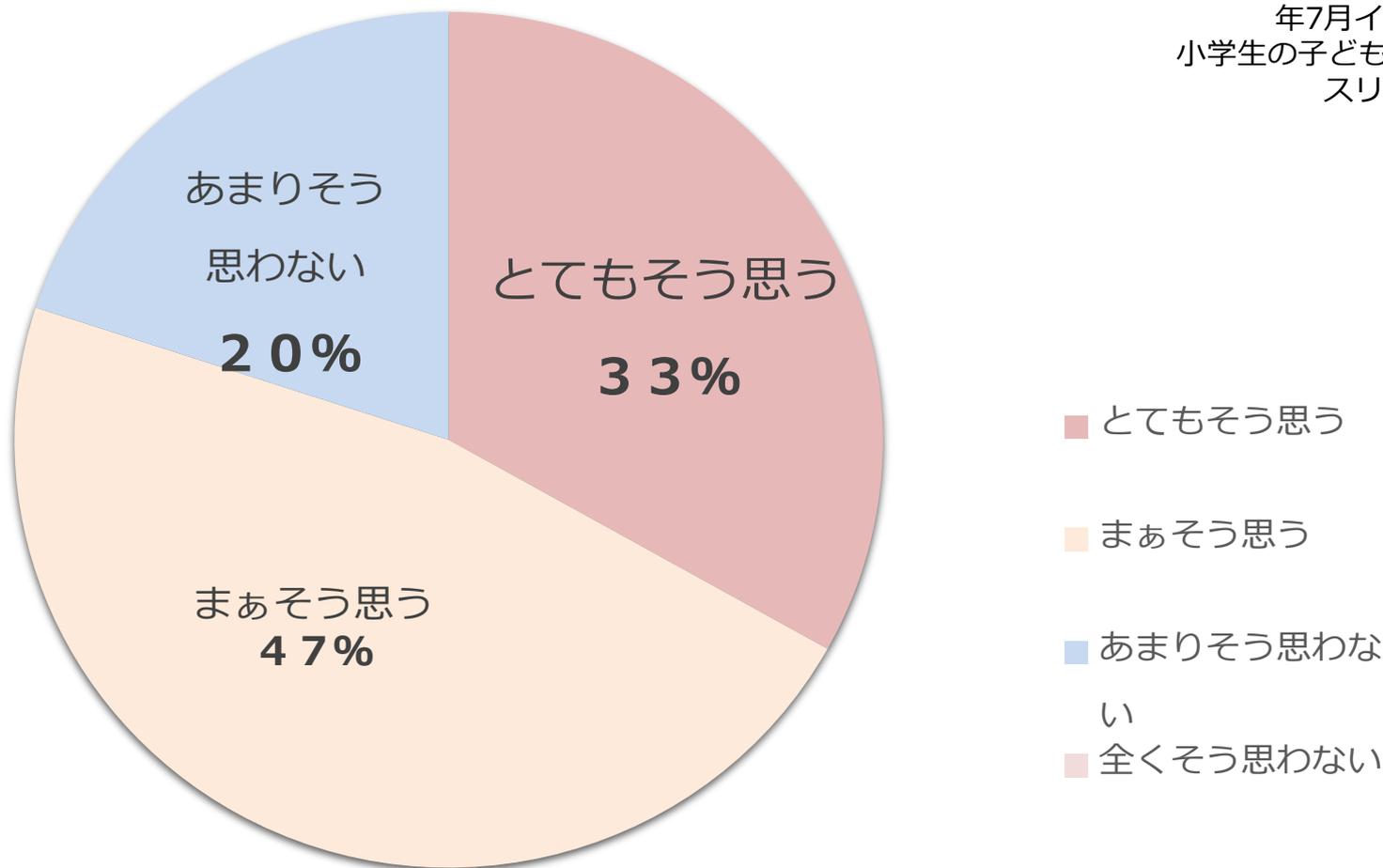
東京ガス「子育て世帯の地域コミュニティに関する調査」
2016年9~10月インターネット調査
一都三県在住 25~49歳既婚 男女1785名
・析対象：子あり男女

小学校に上がることへの環境の変化
への大変さ・不安が強い

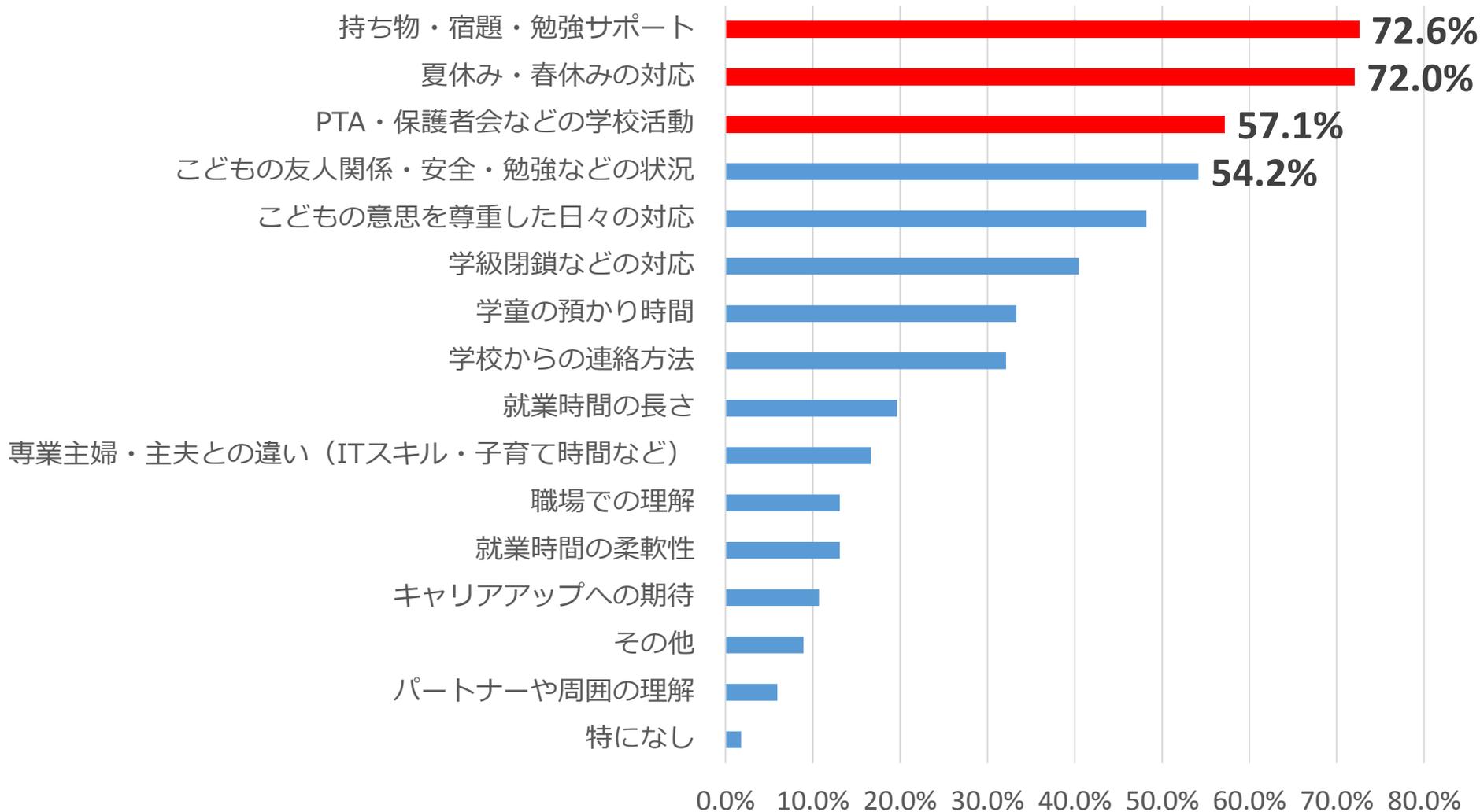


小学生になり、入学前より両立が大変に感じますか。

【小学生パパママ用】小一の壁についての緊急アンケート2018
年7月インターネット調査
小学生の子どもを持つ男女160名
スリール株式会社主催

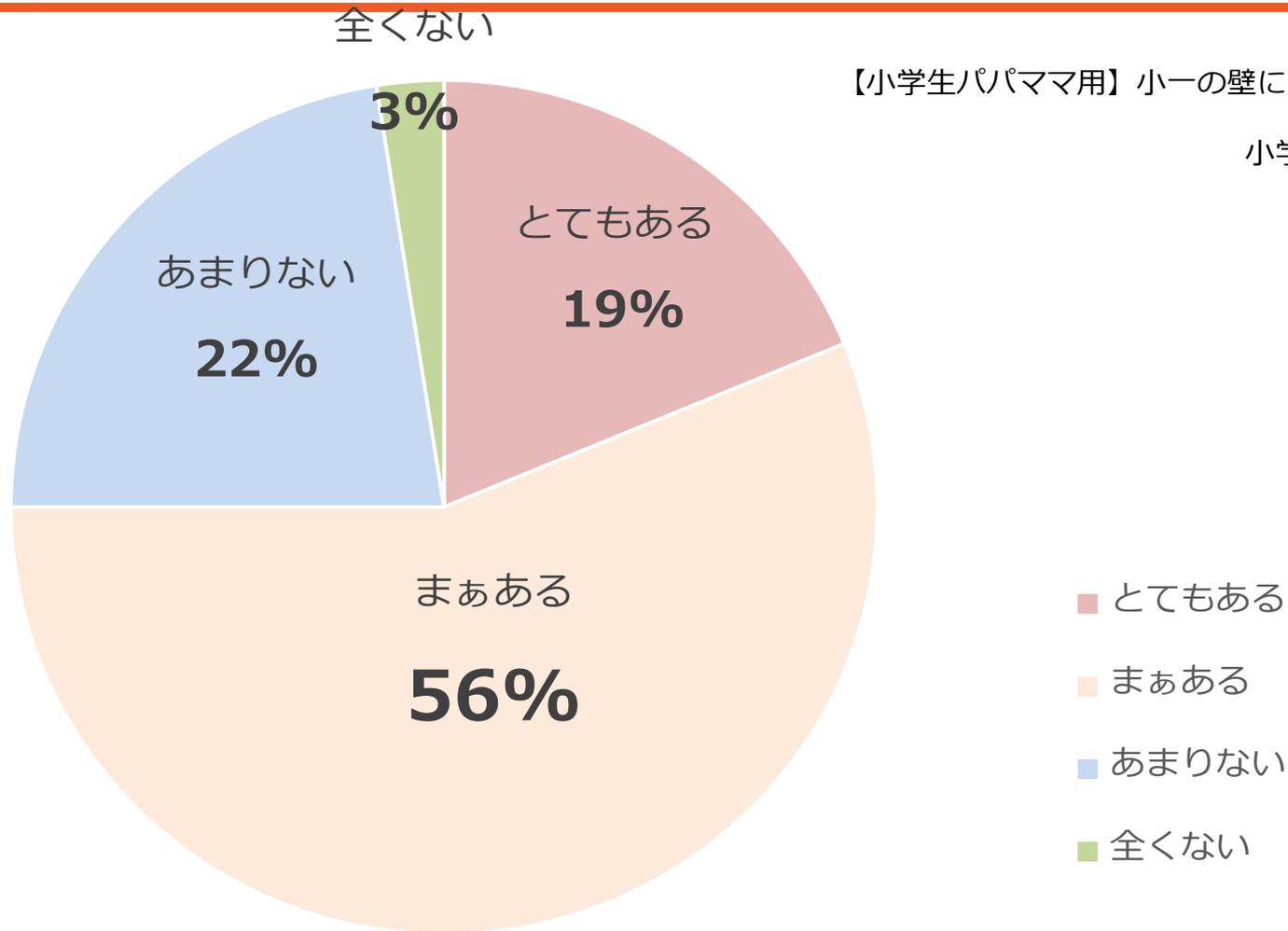


81%が入学前より両立が大変に感じると回答



7割以上が「夏休み・春休みへの対応」が両立が大変だと感じる理由と回答

【小学生パパママ用】小一の壁についての緊急アンケート
 2018年7月インターネット調査
 小学生の子どもを持つ男女168名
 スリール株式会社主催



【小学生パパママ用】小一の壁についての緊急アンケート2018年7月インターネット調査
小学生の子どもを持つ男女160名
スリール株式会社主催

75%が小学校の夏休みへ不安を感じていると回答
主な理由は、毎日のお弁当作りの対応や、
子どもが退屈せず充実した時間を過ごせるかへの懸念。

仕事



子どもも小学生で
手が離れたし、
そろそろ仕事頑張ろうか

- ・ 短時間勤務の解消
- ・ 職場での不理解
- ・ キャリアアップの期待

こども



- ・ PTAなど学校の活動
- ・ 夏休み/春休みの対応
- ・ 持ち物/宿題サポート
- ・ 学校からの連絡方法の不便さ
- ・ こどもの友人関係/安全/勉強などの状況の見えなさ

周囲・サポート環境

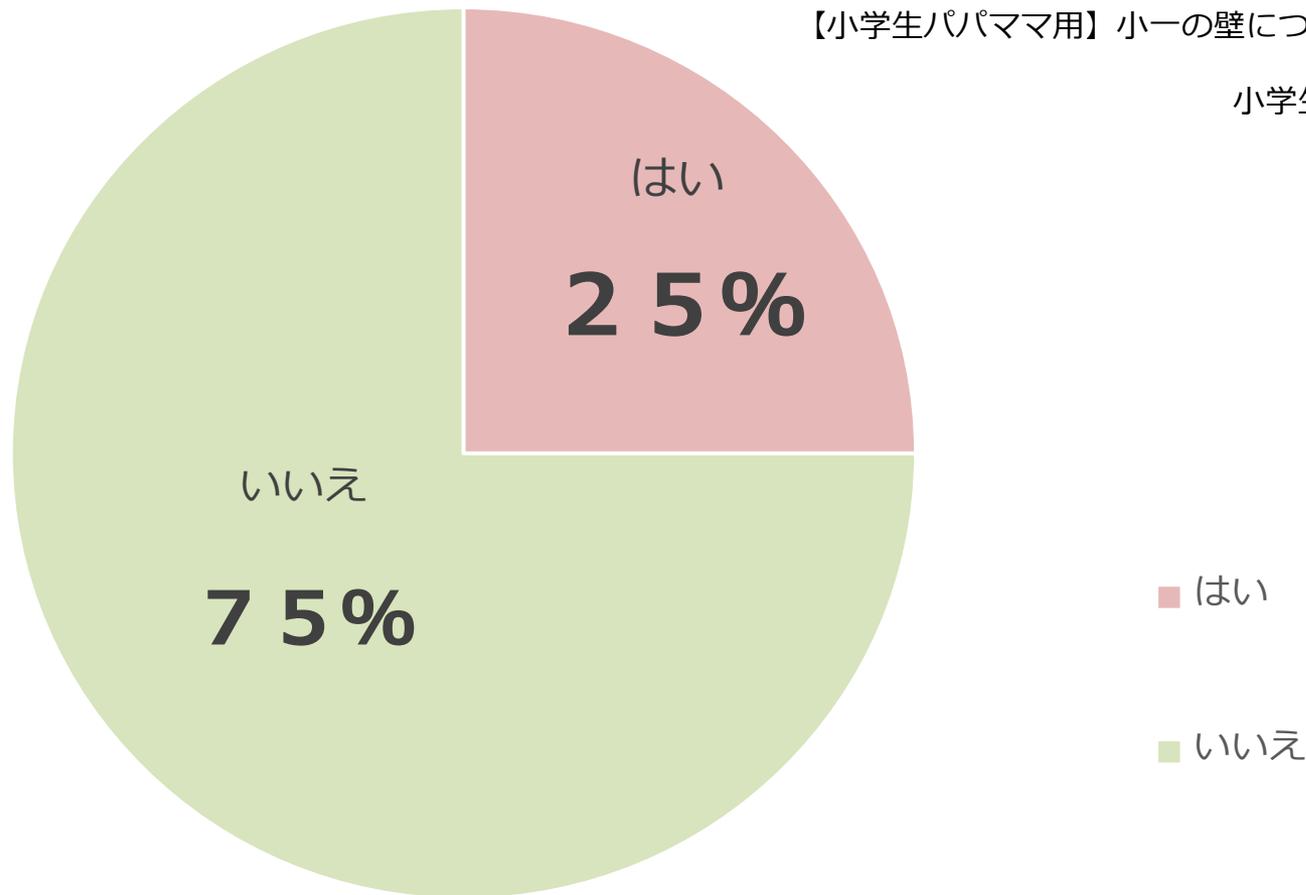


専業主婦
おおよそ
半分

- ・ 保育園→学童（時間変更）
- ・ パートナー周囲の不理解
- ・ 専業主婦/主夫との違い（ITスキル/子育て時間など）
- ・ 子どもの意思を尊重したサポート/日々の対応

「小1の壁」が原因で、転職など働き方を検討しましたか。

【小学生パパママ用】小一の壁についての緊急アンケート2018
年7月インターネット調査
小学生の子どもを持つ男女160名
スリール株式会社主催



4人に1人が「小1の壁」が原因で転職など検討

若手社員



未就学
育児社員



就学児
育児社員



ロールモデルの欠如
両立不安

周囲の不理解

やりくり不能

転職

退職
マミートラック

退職
働き方変更

小学校に入ると、男女共に働き方を変えないと、
両立は難しい

就業時間の柔軟性（リモートワーク・有給1時間単位取得等）

59.9%

職場での「小1の壁」の理解促進

44.9%

夏休み・春休みの補助

44.3%

時短勤務の期間延長

24%

夏休み・春休みの子連れ出勤可能

16.2%

特になし

12%

その他

6.6%

0 10 20 30 40 50 60 70



- 子どもへの細かい対応をするため、リモートワークなど柔軟な働き方が必要。
- 小学生を育てることへの現状理解が職場で不足。

【小学生パパママ用】
小一の壁についての緊急アンケート
2018年7月インターネット調査
小学生の子どもを持つ男女168名
スリール株式会社主催

Q.具体的にサポートしてほしいことがあれば、教えてください。

- ✓ 「もう小学生なんだから」と、思わないでほしい。
- ✓ やはり、子どもが小学生になると子育ては楽になると思われ、仕事量や期待が高まる。期待には答えたいが、子どもの意思を尊重したり、勉強のフォローをしたりと保育園時代とは別の大変さが生じることを理解してほしい。
- ✓ フレックス、在宅勤務など、業務内容は変えずとも柔軟に働くことができればかなり助かる。
- ✓ 授業参観に出席することへの配慮がほしかった
- ✓ 会社にサポートしてもらうのではなく、教育期間で、長期休みには別プランを提案してほしい。

6:00 起床

7:30 登校 [保育園：8:30]



14:50
終業



15:00
帰宅

学童



お稽古



18:00
学童
帰宅

[保育園：20:00など]



宿題・丸つけ・
明日の準備



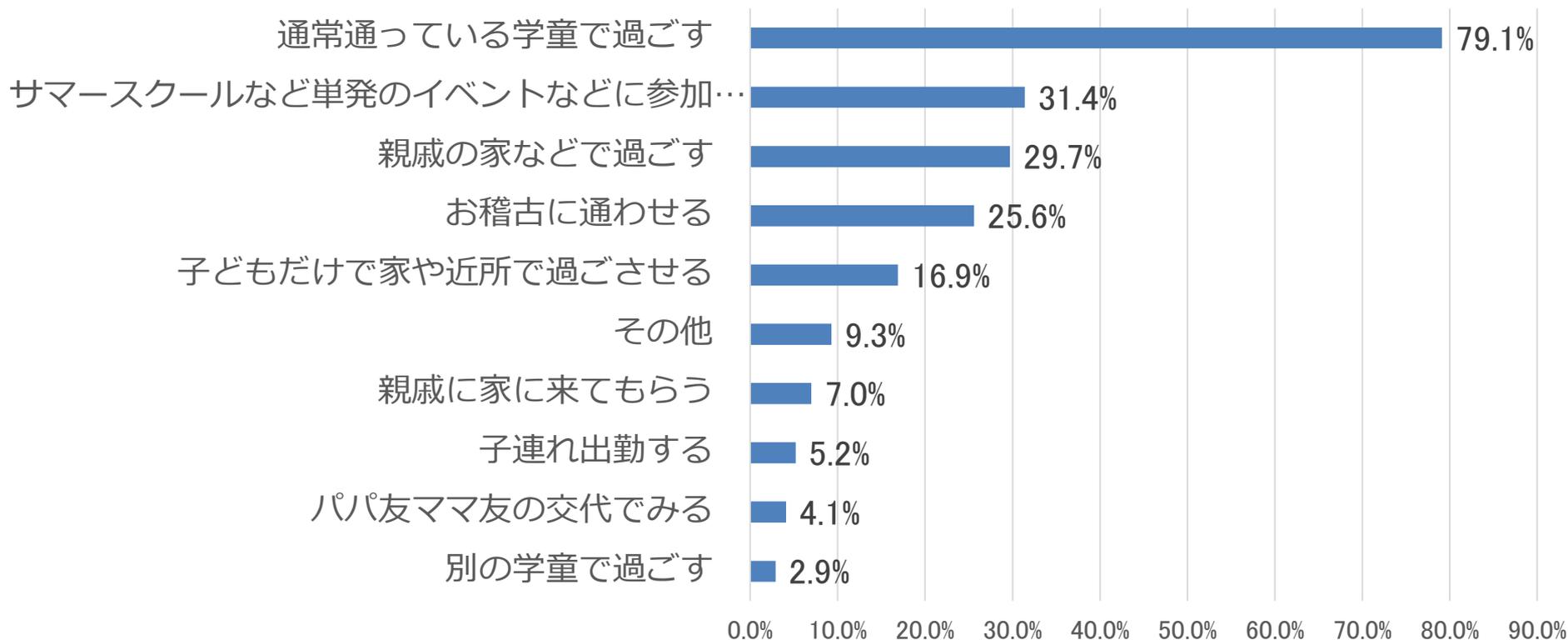
朝
本の読
み聞か
せ



夕方
保護者会



夕方
PTA



夏休みに追加でかかる金額（区分）

- 2 - 3万程度
- 5 - 6万程度
- 10万程度
- 10万円以上

※お弁当代やサマースクール等様々。

学童と単発のイベントやお稽古、サマースクールを組み合わせることが多い

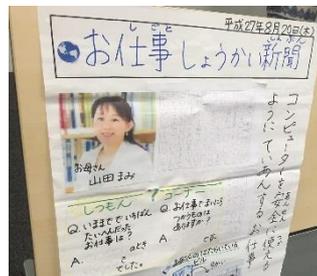
【小学生パパママ用】小一の壁についての緊急アンケート
2018年7月インターネット調査
小学生の子どもを持つ男女172名
スリール株式会社主催

社員全員の リモートワークの促進



全社員のリモートワークを可能にする、
成果指標で評価する。
※時短よりも、リモートワーク促進の方が、

キャリアとの両立がしやすくなる 小学生の夏休み 「ファミリーデー」



子どもが親の会社に行き、仕事について学ぶ場を提供する。

小学生の夏休み 「子連れ出勤」

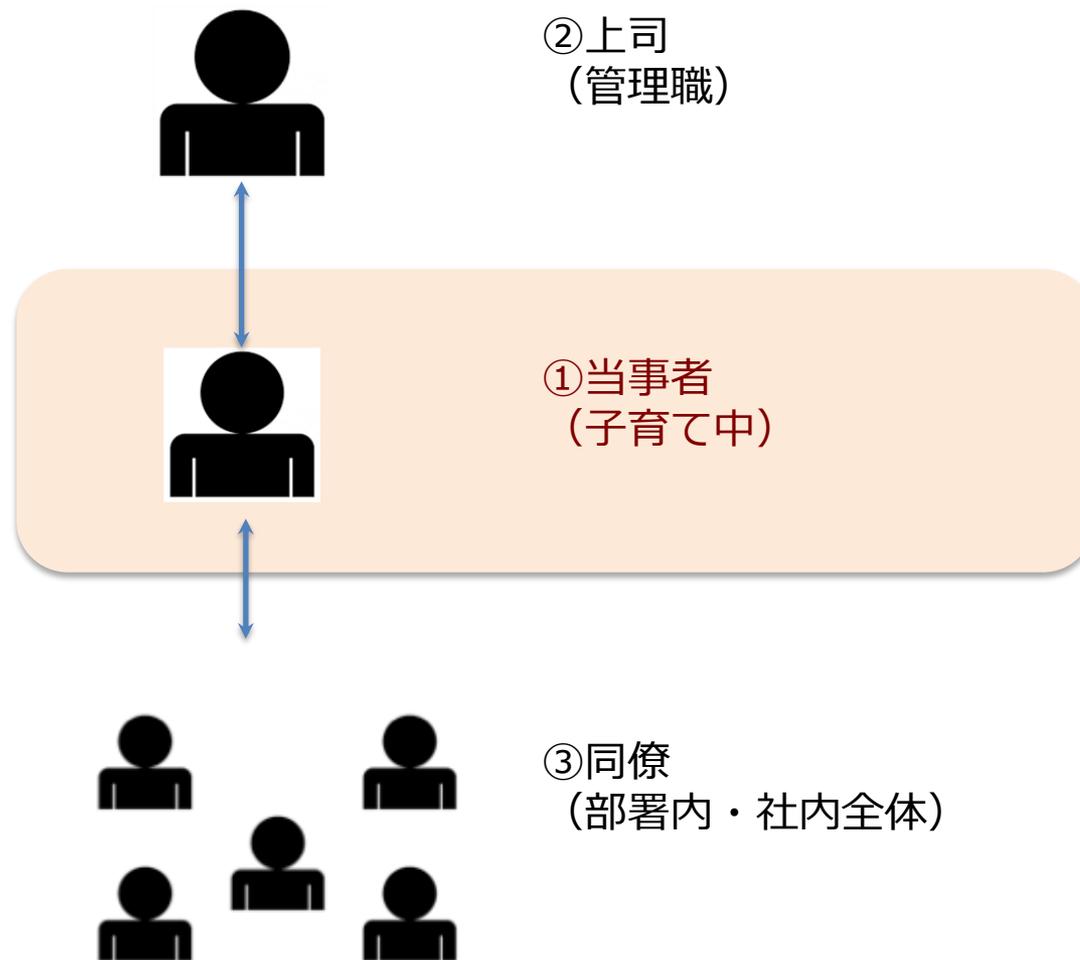


夏休みの数日間など、会社にも子どもを連れて来て良い期間を作る。
例：サイボウズ、バンダイナムコ、リクルートなど

- ①人事担当者が、当事者の声をリアルタイムに聞いていない
→ライフステージによる悩みを継続的に聞く

- ②会社の本気さが伝わっていない
→子育てしながら管理職ができるような体制づくり

- ③両立不安が払拭されていない
→若手のうちから「両立キャリア」への意識づけをして、
長期的なキャリアを見通せるように
→周囲の理解にも繋がる



現状を把握し、子育て社員をモチベートしていきながら、
周囲への理解を促進していく

若手社員



ロールモデルの欠如
両立不安

両立キャリア講座

- ・キャリアを描く
- ・ライフプランとどう両立するか知る
- ・ロールモデルを得る
- ・交渉術を学ぶ

未就学
育児社員



周囲の不理解

両立キャリア講座・働き方
×上司の理解の促進

- ・キャリアとライフをどう両立するか知る
- ・子育てサポートを知る/使う
- ・ロールモデルを得る
- ・交渉術を学ぶ

就学児
育児社員



やりくり不能

働き方・評価制度の抜本改革
×周囲の理解の促進

- ・柔軟に働きながらキャリアアップする働き方の改革
- ・子育てサポートを知る/使う
- ・交渉術を学ぶ

参考

Sour ire

- ・やはり、子どもが小学生になると子育ては楽になると思われ、仕事量や期待が高まる。期待には答えたいが、子どもの意思を尊重したり、勉強のフォローをしたりと保育園時代とは別の大変さが生じることを理解してほしい。
- ・子どもの成長と共に仕事がしやすくなると思っている方が世の中まだまだ多いと実感しました。
- ・夏休みなどの学童保育の開始時間（午前8時）を、保育所と同じ（午前7時）にしてほしい。希望者にはお弁当が注文できるようにしてほしい。
- ・保育園より小学校の方が朝は早くて夜も早いということを知って欲しい。今は理解のある上司で早く来て早く帰ることを認めてくださって本当に本当に助かっています。上司がわかっていても、同僚や取引先が理解してくれていないと早く帰れないので困っています。
- ・転職かなあと思うと本当にしんどい。
- ・職場全体に余裕がなければ、育児や介護などで時短を取得している職員への風当たりは強くなると思います。
- ・時短を取ったせいで誰かに余分な負担がかからないような構造になることを望みます。学校で配られるプリントの多さや、PTA活動など時代にあわないものは負担が大きいので廃止してほしい。

【小学生パパママ用】小一の壁についての緊急アンケート
2018年7月インターネット調査
スリール株式会社主催

- ・ 心理的安全性がなく、子育てに厳しい社会である事を痛感しながら子育てしてきた。2番目の末子が小6だが、もっと子育てしやすければ、あと1人欲しかった。
- ・ 一人目入学時（12年前）に壁が高く退職しました。経験してみないとわからないことが多くあり、不安になるのですが、知識やサポートがあればチャレンジできたかもしれません。
- ・ 制度がない場合は同僚上司に率直に頻繁に現状を共有し、理解してもらえるコミュニケーションが大事。
- ・ 行政のサポートが圧倒的に足りない。子育て世代への理解とサポートが必要。少子化もやむなしという現状を理解し直ちに改善してほしい。
- ・ 先日学童の面談で、来年(新三年生)ここに残れるのはほんの一握りです、と言われ不安に襲われました。しっかりものでもない小さな娘を鍵っ子にする勇気はないので、お金がかかっても民間に入れられたらと思い現在は情報を集めています。また、いまは近くに主人の祖父母がいるのですこし頼らせてもらっていて恵まれた方だと思っておりますが、79歳と76歳なのでいつまで頼れるか...という状況。また、区のファミサポは単発は受けれるが、習い事送迎となると受け手が全く足りていない印象です。児童館はうちの場合近くになくて、かつ裏路地なので、7才の娘を通わせるのは怖くて、うちの場合、放課後の居場所としての選択肢にはありません。学童の時間延長と3年生以降の増枠を切に願っております。
- ・ P T A、学童保育等の保護者会負担の軽減を、学校任せではなく国・都道府県・自治体単位で考えてほしい。

【小学生パパママ用】小一の壁についての緊急アンケート
2018年7月インターネット調査
スリール株式会社主催

- ・ 退社させられました。お稽古ごとの対応などを考え、正社員を諦めて細々と業務委託などで働いています。フリーランスというと聞こえが良いですが、不安定だし、会社員時代よりアウトプットが出せるか不安でチャレンジができず、不安から鬱一歩手前まで追い詰められています。
- ・ 保育園よりも、学童の預かり時間が短いため、保育園の時はフルタイムで働いていたのに、小学校からは時短勤務に変更しました。
- ・ 結局、仕事をこなしているではなく、子育てで帰ることや、有給使うことを咎める上司がいるから、本当にしんどい。もっと堂々としていたい。何も悪いことしていないのに、毎日苦しい。
- ・ 実家に頼れない家庭でも、支え合える仕組みが必要だと思います。また組織で同僚を気遣うにあたっては、家庭の事情は千差万別であることを理解し、十分な対話がなされるべきだと思います。
- ・ 仕事と子育ての両立は、社会や家族の理解が無いと難しい。保育園に入れば、小学校に入れば、入ることが目的ではない。入れてから、どう教育をしていくか、どんな大人に育てなければいけないのか、そこがぬけているような気がする。日本の学校制度は時代遅れと言われて久しいが、何の改革もされていないところに入れるだけが目的となっていて怖い。他の教育機関に預けると、お金がかかりすぎて、何のために、仕事しているのかわからなくなる。

【小学生パパママ用】小一の壁についての緊急アンケート
2018年7月インターネット調査
スリール株式会社主催

- ・子供が小学生になるタイミングというのは働く両親にとってとても大きな転機になると痛感しています。子供にとっても保育を受ける側→自主的に学習する側と大きな転機であり、十分に心身と環境づくりをすることがとても大切だと思います。
- ・フレックス、テレワークなど、勤務時間や勤務形態が当たり前に多様化し、働き方の選択肢が増えることを望みます。
- ・短時間勤務の制度があっても、周りの人に負担がかかると、取りづらいし雰囲気が悪くなるので、短時間勤務で給料を減らしていいので、その分パートで人材を補充するか、周りの人へ負担が増えるならばその人たちの給料をアップさせて、お互い納得のいく形で働ける環境が欲しかった！
- ・会社からはキャリアアップを求められ、私は仕事よりも子どもとの時間や自分のための時間を大事にしたい、そのギャップの狭間で難しい。
- ・フルタイムで仕事をしてはいますが、働き方を変えた方が良いか迷っています。柔軟な勤務体制や急な欠勤に対応出来るようなリモートワークの制度、会社の理解、また学校側の共働き家庭への対応など、今後あらゆる面で歩み寄りが進むことを願っています。